

環境保全報告書

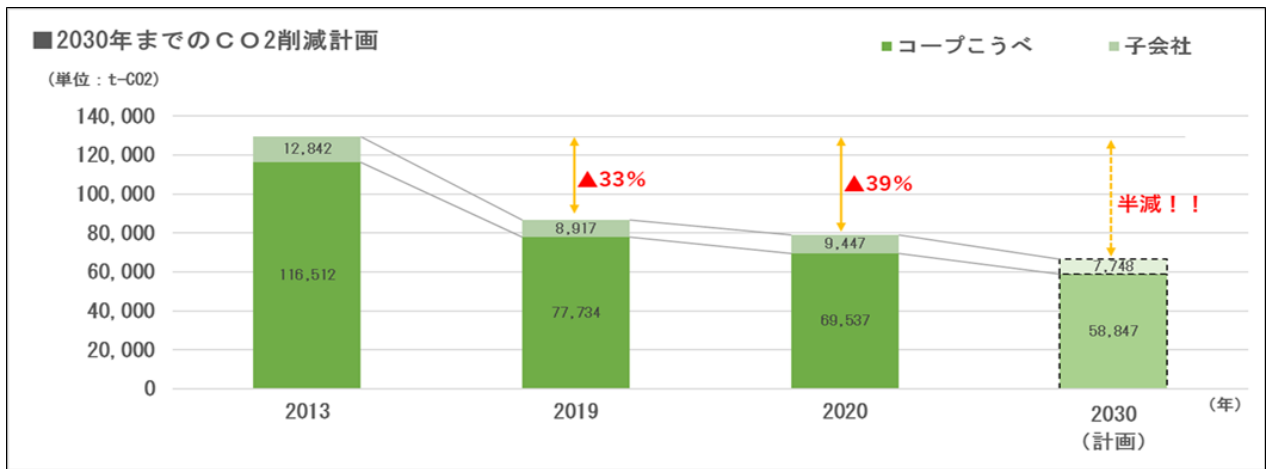
1. 環境保全報告書の記載範囲

生活協同組合コープこうべは、兵庫県下で事業を行っている組織であり、環境の重点取組目標・計画は全体で策定しています。そのため、以下の記載内容はコープこうべ全体の実績の報告となります。

2. 2021 年度環境マネジメント実績

(1) チャレンジ1「CO₂排出量を半減！」（基準年：2013 年度 政府目標の基準年と同一）

エネルギー使用量の削減や再エネ 100%事業所の展開など、「量の削減」・「質の改善」両面の取り組みにより、CO₂ 排出量（2020 年度）は基準年比 ▲39%と順調に削減。



	2021 計画	2021 実績	評価
1	設備更新の際、省エネ設備への切替えを促進（量の削減）	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ空調に更新（KC 東灘、C 稲美、C めふ他 9 か所） ・LED 照明に更新（CD 芦屋、C 西神南他 13 か所） ・省エネ冷ケースに更新（CD 神戸西、CM 花山） 	○
2	省エネチューニング※を継続実施（量の削減） ※ 専門業者による冷蔵冷凍機器・空調の運用調整により省エネ効率を改善させる施策。	住吉事務所およびコープ店（コープミニを除く）で省エネチューニングを継続し、エネルギー使用量・CO ₂ 削減を推進。	○
3	営業車に電気自動車導入を引き続き検討（量の削減・質の改善）	2021 年度は電気自動車の新規導入は無し。2022 年度・新 KC での配送トラック EV 導入に向け、情報収集を実施。	△
4	再エネ 100%事業所の対象事業所拡大を検討（質の改善）	再エネ 100%（CO ₂ 排出係数「ゼロ」）の稼働事業所を 8 事業所から計 59 事業所へ拡大。	○

(2) チャレンジ2「食品廃棄物を半減！」（基準年：2015年度 SDGsの基準年と同一）

取り組み強化により基準年比 86.9%に削減。

	2021 計画	2021 実績	評価
1	エコファームの食品リサイクル ループ（C土づくりセンター-食品残さ 回収）対象店舗を拡大	・食品廃棄物削減、食品リサイクル率向上に向け、C土づくりセンター回収対象店舗を拡大。回収業務委託先を変更し、2021年7月から10店舗拡大（計48店舗）。	○
2	店舗事業における食品廃棄物削減の取り組み ①管理期限の見直し対象部門の拡大 ②自動発注の設定値の見直し	①2020年度に実施したパンの管理日数見直しの成果を受け、対象部門を生鮮・日配に拡大。 ②発注精度向上のため、自動発注の見切補正（値引きや廃棄 数量を次回発注数に反映する仕組み）の設定値を変更。	○

(3) チャレンジ3「プラスチック使用量を 25%削減！」

取り組み強化により、基準年（2017年）比 93.7%に削減。

	2021 計画	2021 実績	評価
1	・食品工場PB商品でのプラ削減 ・畜産ノントレイ商品の拡充	・スティックパンの「留め具」を廃止し、包材サイズを8cm短縮。年間800kgのプラスチック使用量を削減。 ・ノントレイ商品をC西宮南（イスタア）で導入。8月よりPC製造品での実験供給開始。下期より複数店舗で供給開始。	○
2	「マイバッグ運動 NEXT」の推進	・マイバッグ持参率（90.8% 前年差▲0.4%） ・シェアバッグ展開店舗の拡大（22店舗 前年差+17店舗）	△

(4) チャレンジ3「エシカルな商品やサービスの開発・供給推進！」

エシカルな商品や「コープでんき」の普及・拡大、脱プラ施策の強化等を実施。

	2021 計画	2021 実績	評価
1	6月と10月の環境・エシカル強化月間を中心にエシカルな商品の企画・供給促進	・環境・エシカル強化月間を中心に、地産地消や被災地支援、脱プラ等、店舗・宅配・商品政策推進室と連携し、エシカルな商品の企画・供給を実施。 ・C龍野にて、地域NPO・地元小学校と共同で脱プラ企画「プラエコ」を開催（計3回）。	○

2	「コープでんき」地産地消の取り組みを推進	<ul style="list-style-type: none"> ・コープでんきの調達先として、新たに6か所の太陽光発電所からの調達を開始。コープでんき初となる小水力発電「水車新田小水力発電所（神戸市灘区）」からの電源調達を開始。 ・固定価格買取制度が終了した組合員宅からの太陽光発電「余剰電力買取サービス」を継続実施（2022年3月末時点105軒）。 ・コープでんき「地産地消」紹介動画を活用し、店舗相談会ブースでのPRや学習会の素材として多方面で活用。 ・コープでんきの契約獲得件数は、コロナによる推進自粛の影響もあり9,163軒（目標10,000軒）と未達。 	△
3	「コープでんき」の電源開発促進	<p><㈱コープ環境サービスによる電源開発></p> <ul style="list-style-type: none"> ・C大久保、C上郡、C安倉にて自家発電・自家消費型太陽光パネルを設置。計画していた一部店舗では設置条件が整わず断念。 ・「箸荷バイオガス発電所」の稼働開始が大幅に遅延。安定稼働に向け対策に着手。 	×
4	循環型社会の実現に向けた新たな資源の有効活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・東播磨エリアにおける「ボトル to ボトル」（PETボトルの水平リサイクル）の取り組みを開始。 ・神戸市、他流通、日用品メーカー、リサイクラーと協働で、日用品の「使用済みつめかえパック」の回収・リサイクルの取り組みを開始。 	○
5	羽毛製品（ダウンジャケット・羽毛布団）の店頭回収継続と宅配回収の検討、リサイクルガウンの商品化検討	<ul style="list-style-type: none"> ・29店舗にて羽毛を回収し、2,251枚（前年比148%）と伸長。 ・総代から要望のあった「宅配での回収」については、次年度の実施に向けた調整を実施。 	△

(5) チャレンジ5「組合員とともにエシカル消費・活動を拡大！」

コロナ禍の中、オンライン学習など新手法を開発し、組合員とともにエシカル消費・活動を展開。

	2021 計画	2021 実績	評価
1	エシカル・SDGs に関する学習会・記念イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・「やるもん出前講座」等の講師として学習会を開催：延べ1333人/54回（SDGs：978人/25回、プラスチック：150人/13回、食品ロス：123人/9回、エネルギー：82人/7回）。 ・その他、C西宮南オンライン見学会（45人）、鳴尾浜&玉津リサイクルセンターオンライン見学会（112人）を開催。 	○
2	フードドライブの常時受付を全コープ店で開始	4月より全コープ店（CMは除く、CMルミアス箕面は実施）でフードドライブの常時受付を開始。9月には全店舗・全宅配で集中受付キャンペーンを実施し、約14tの食品を回収。	○
3	「わたしのSDGsアクションコンテスト」の開催	「SDGsアクションフォーラム」をオンラインで開催（2/26）。基調講演及び第3回「わたしのSDGsアクションコンテスト」に計60人が参加。	○

4	資源物回収・再利用の呼びかけ	折込チラシにて古紙めーむ・宅配内袋の回収協力を呼びかけ、古紙めーむ回収率（60.5% 前年差+0.8%）、宅配内袋（17.4%、前年差▲0.2%）の実績。	△
5	プラスチック問題に関する学習会、「語り手講座」の開催	「語り手講座」を受講した組合員が講師となり、学習会を開催（22年1月）。	△
6	「コープこうべ環境基金」の再活性化策の立案	・オンラインにて「コープこうべ環境基金インターネット市民団体交流会 2021」を開催し、21人が参加。 ・運営委員会を刷新し、委員長交代及び新規運営委員3名就任。	○
7	『コープこうべ コミュニケーションレポート 2021』発行	前年までの環境推進・商品検査センターの取り組みを紹介する構成から、コープこうべ全体の取り組みを網羅する構成へ変更。総代・コープ委員、職員、地域・行政、関係各社を対象に3万部配布。	○

3. 食品工場における公害防止対策に係る報告

ア. 目標達成状況と目標達成のために講じた措置・対策

目標項目		目標達成状況	目標達成のために講じた措置・対策
防大 止気 対汚 策染	ばい煙の排出規制の遵守	排出にかかる目標値を全ての測定結果が満たしていた。 (測定結果は別途報告)	◆ばい煙発生施設の適正な維持管理に努めるとともに、年2回のばい煙測定を実施し、目標値の遵守状況を確認した。
防水 止質 対汚 策濁	(公共下水道を使用する場合)		
	排除基準の遵守	排出にかかる目標値を全ての測定結果が満たしていた。 (測定結果は別途報告)	◆排水処理施設の適正な維持管理に努めるとともに、月2回の放流水水質検査により目標値の遵守状況を確認した。
	雨水への油漏洩防止対策	雨水への油漏洩防止	◆手順書作成及び教育実施
悪臭 防止 対策	法令等の基準の遵守	特に異臭が発生することはなかった。	◆排水処理設備脱臭装置活性炭交換
対土 策壤 汚 染	土壌汚染の未然防止	油、薬品等の土壌への流出はなかった。	◆手順書作成及び教育実施
産業 廃棄物 対策	法令等の規制を遵守	◆法令等に定める産業廃棄物管理票(マニフェスト)制度、廃棄物の保管・処理基準を遵守し、法定の記録・報告を実施した。	
	廃棄物の発生抑制・再利用	◆産業廃棄物の再生利用、再資源化等の有効利用及び減量化に関する処理計画を策定し、必要に応じ市へ報告を行った。 ◆工程の見直しを行い、廃棄物の発生抑制・再利用を積極的に実施した。	
P R T R 法	特定化学物質の排出量及び移動量の報告	◆P R T R法に基づく第一種指定化学物質(塩化第二鉄)の排出量及び移動量の届出・報告実施。	

イ. ばい煙発生施設のばい煙測定結果

施設名	硫黄酸化物	ばいじん [mg/m ³ N]	窒素酸化物 [ppm]平均値
No.5 ガスエンジン 400 k w ヤンマー E P 400	K値 1.17 以下 総量規制	0.0048	111
No.6 ガスエンジン 400 k w ヤンマー E P 400	K値 1.17 以下 総量規制	0.0052	135
No.7 ガスエンジン 815 k w 三菱重工 S G P 815	K値 1.17 以下 総量規制	0.0037	350
コガタカンリュウボイラーミウラ A I - 1000H	K値 1.17 以下 総量規制	0.0023	2529
1 - A コガタボイラーミウラ S Q - 2000 Z S	K値 1.17 以下 総量規制	廃止	廃止
1 - B コガタボイラーミウラ S Q - 2000 Z S	K値 1.17 以下 総量規制	廃止	廃止
1 - C コガタボイラーミウラ S Q - 2000 Z S	K値 1.17 以下 総量規制	廃止	廃止
1 号コガタボイラーミウラ S Q - 3000 A S	K値 1.17 以下 総量規制	0.0023	21.5
2 号コガタボイラーミウラ S Q - 3000 A S	K値 1.17 以下 総量規制	0.0024	21.5
3 号コガタボイラーミウラ S Q - 3000 A S	K値 1.17 以下 総量規制	0.0022	21
4 号コガタボイラーミウラ S Q - 2000 A S	K値 1.17 以下 総量規制	0.0024	24
5 号コガタボイラーミウラ S Q - 2000 A S	K値 1.17 以下 総量規制	0.0020	25
58 - Z 01 - A シグマ T U G 360 A N 9 C	K値 1.17 以下 総量規制	0.0019	27
58 - Z 01 - B エフィシオ N H G 3 6 0 A N 9 A	K値 1.17 以下 総量規制	0.0023	28.5

ウ. 排水水の汚濁状態測定結果

放流水水質測定結果									
項目	管理目標値			測定値		全測定回数	目標値を超過回数	目標値達成判定	法令基準達成判定
				最大 (pHのみ 最小~最大)	平均				
項 法 令 排 水 基 準 設 定	1	水素イオン濃度 (pH)		5.0~9.0	6.2-7.4	6.8	24	0	○
	2	生物化学的酸素要求量 (BOD)	2000 以下	2000 以下	210	24.9	24	0	○
	3	浮遊物質量 (SS)	2000 以下	2000 以下	700	46	24	0	○
	4	ノルマルヘキサン油類	150 以下	150 以下	1.4	0.4	24	0	○

単位は pH を除き、mg / ℓ ○ 達成 × 未達

以上